

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
富田小学校区		7月6日(金) 18:00 ~ 20:40 富田会館	1部:37人 2部:43人 合計:80名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条中学校の自転車通学について。自転車通学開始の可能性について。	教育長	可能性はゼロではない。学校と保護者の間で話し合っ ていきたい。北条中校区は、県道も多く危険な箇所が多 いのは確か。
2	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中学校の通学路の整備について。県道の整備のお願い。	副市長	県道については、進捗状況はこちらでは把握できていな い。県道を通学路とするかどうかは検討が必要。
3	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	富田小の耐震等について。避難所を兼ねる施設になるこ とを希望。	教育長	木造校舎を取り壊す。建替は耐震の建築物になる。残る校 舎は、耐震基準は満たしている。
4	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	いじめの相談窓口について。どこに相談すればいいの か。保護者わかるように周知してほしい。	教育長	いじめについては、まずは学校に相談。学校から教育委員 会に報告がある。また、相談窓口は総合教育センターにな る。すべて、関係機関へ連絡し情報共有している。
5	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中国道北側の側道を自動車がスピードを出して通過す る。徐行等の標識はあるが、守られない。子どもも通るので 抑止できないか。例えば、道路に波を作って音がでるよう にするとかできないか。	ふるさと創 造部長	以前から北側側道を前面拡幅せず、すれ違いできるような 場所を作るなどしてきた。一旦停止等は公安委員会との協 議となります。

6	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中国道北側の側道を通勤で利用しているが、北条の栗田あたりまで、一旦停止の線が無い。スクールゾーンや進入規制とかをできないか。		
7	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	谷町の交差点の交通量が多い。それで、側道に流れてくる。それを何か対応できないか。		(持ち帰り検討)
8	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条高校を盛り上げていく為に、加西市として何かできないか。	教育長	県立なので市で何かするというのはなかなかできないが、校長は新しいことに取り組みをされている。
9	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条高校に特色をつけた教育(スポーツや芸術など)をしていけないか。	教育長	いろいろ取り組まれているので、応援してほしい。
10	地域の豊かさや元気を取り戻す産業づくり	加西市に就職先が無い。いい企業が無い。	ふるさと創造部長	加西の4つの産業団地は、ほぼ満杯。就職希望の学生がしたい仕事とマッチングできるかはわからないが、PRしていく。新たな工業団地を考えないといけない時期かもしれない。
11	地域の豊かさや元気を取り戻す産業づくり	加西市に帰って来たいと思う環境を	ふるさと創造部長	昔は、加西に帰ってきて家を継ぐようにと教育していたが、今は自由に行きなさいと教育している。
12	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	未就学の子どもを育てている。子育てに関する事業の優先順位は何か。あと進捗状況は。小中一貫教育とは。	教育長	答申の中で、耐震の件は進めている。小中一貫校の設置は考えていない。幼保との連携は大事だと思っている。就学前教育に力を注ぐ。その視点で一貫性を持たせる。市立も私立も同じ対応をしていく。
13	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	中学校の学校給食はいつから始まるのか。	市長	給食センターは平成26年1月から実施予定。

14	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	地籍調査事業について、北条中学校区は未実施。早く実施してもらうことは可能か。地籍が完了しておれば、土地も動きやすいと思う。	市長	早くしたいと思っている。同感。職員数の問題があるが、早く進めて行きたい。
第2部				
15	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	富田まちづくり協議会があるが、部署がいろいろあって相談をどこに行けばいいのか。	ふるさと創造部長	補助金など各部署によって把握して
16	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	ふるさと創造会議は、今実施しているまちづくり協議会と違うものなのか。	ふるさと創造課長	県民交流広場事業は、地域の活性化という目的があったが、創造会議は地域の運営を考えていただき、予算と裁量権を持ってもらい、住民で考えたものを形にしていく。
17	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	これからは地域がきちんと活動しないとダメだと思う。起業する風土を作っていないとダメだと思う。	副市長	新しい産業をどう起こしていくか。加西市では起業する雰囲気がないので、これから作っていく必要があると思っている。創造会議は、各地域性を持った会議にしたいと思っているので、まだモデルを提示できていないが、みなさんの声を確認しながら進めて行きたい。
18	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	加西市には農業があるので、これを推し進めていく必要がある。	市長	ふるさと創造会議とは、まず加西市では各自治会の運営が確立されている。それに小学校区単位で住民の意見によって何をするかを決めて実行する。それには予算も必要なのでそれも考えている。地域十分に話し合いを持ち、地域の実情に合わせた会議を作って行きたい。
19	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	同上	市長	農業は、加西では重要な産業であると認識している。
20	健全な行財政運営の確立	自治会の活動費は、ほんとうにわずかで運営している。職員・議員の数、人事評価はどうなっているのか。対応も悪	市長	がんばって行って行きたい。

		い。		
21	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	区長業務が多忙。新たにふるさと創造会議ができるともつと忙しくなる。ふるさと創造会議の役員がなるとなれば、2年で区長が変わると組織は立ち行かなくなる。	ふるさと創造課長	おっしゃるとおり。区長さんに新たな業務を増やさないように検討していきたい。地域の女性に参加を促したい。創造会議の設立を慎重に進めたいと思っている。遅く立ち上がったからといって、不利益にならないような設計にしたい。
22	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	市街化調整区域なので、家を建てようにも1年間何もできずにいる方がいる。こういった相談を受け付けてくれる対応をしてくれるようにしてほしい、	市長	個別に対応します。
23	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	加西市のPRは何か。農作物か歴史なのか他に何かあるか。	市長	これといったものが無く、歴史的なものや農産物で作ってきたい。
24	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	加西のキャラクターについて	市長	商工会議所の青年部がキャラクターを募集して、作成された。ぬいぐるみも作成済。町の祭に是非、呼んでください。
25	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	戸数の少ない町で、半数近くが65歳以上、婦人会は無い。吉野では減農薬・有機で米を作付けしていた。PRが難しい。市のほうで何かできないか。	市長	町の規模によって運営が厳しくなっているのは理解している。それも創造会議でケアしていけるような枠組みを検討できないかと思っている。
26	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	市道の一部が傷んでいる。修繕に時間がかかっている。	市長	道路の件については、長らく対応できていない期間が続いていたが、予算を少し増やしつつ対応していく。